

水頭症の手術(L-Pシャント術)を受けられる患者様へ

手術・検査内容:L-Pシャント術 入院期間:12日間

経過	入院・手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目～6日目	術後7日目	術後8～9日目	術後10日目(退院)
達成目標	治療の目的が言える	手術・麻酔の目的を理解し同意することができる 手術の状態が安定する	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	退院に向けてリハビリが進む	退院に向けてリハビリが進む	退院に向けてリハビリが進む
治療・処置		手術着に着替えます 点滴を行います ストッキングを着用します 	腹部には腹帯を装着します	夜で点滴は終了です				
検査				CT検査 採血 		CT検査 採血 		
安静度	制限はありません	点滴を行いながら手術室にご案内します	術後はベッド上安静です	監視下で、病室内歩行が可能となります	監視下で、病棟内歩行、院内歩行が可能となります			
リハビリテーション	リハビリ術前検査があります			ベッドサイドにて開始します	病室内またはリハビリ室にて行います	術後の評価を行います	リハビリ病棟に転棟し退院に向けて訓練をおこないます ※病状により日にはこととなります	
リハビリテーション計画	リハビリテーション処方時はリハビリテーション総合実施計画書に準じて施行します							
食事	夕食まで食事ができます	朝()時以降は水分摂取できません	夕方から水分摂取が可能です ※水分摂取時間は看護師がお伝えいたします	朝食から食事が再開です ※指示された食事を提供します ※持ち込み食の摂取は医師の許可が必要です				
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無 (どちらかに○)			栄養計画: 医師の指示により、病状・状態にあった食事を提供します				
清潔		入浴、シャワーはできません		お体を拭かせていただきます 				入浴、洗髪が可能となります
排泄	特に制限はありません	手術室にて、排尿のための管を入れます		排尿用の管が入っている場合は 抜去します	便秘時、便秘薬使用します 3日間排便がなければ浣腸を行います			
看護計画	目標が達成できるよう援助します							
薬剤計画	薬の用法・用量・禁忌・相互作用などを確認し効果的な薬物治療が受けられるようにします							
薬	持参薬があれば確認します/手術に影響のあるお薬は主治医の指示で中止となることがあります	主治医の指示により必要なお薬のみ服用していただきます		朝から内服可能です ※中止しているお薬があれば主治医の指示の下再開です		抗血小板剤(血をサラサラにするお薬)休薬があれば、再開を検討します 		
家族説明	各種・同意書を確認させていただきます							主治医の許可があれば退院です
病棟			術後「集中治療室」又は「HCU」に入室いただく場合があります	一般病棟に戻ります				
在宅復帰支援計画	退院後の希望と生活で心配なこと(介護・経済面)を伺います		介護保険や利用できるサービスを説明し、必要時に退院先・サービスの手配を一緒に進めます/退院前に計画を最終確認します			必要時に、退院後の支援(ケアマネジャーなど)に情報を渡し、スムーズな生活開始をサポートします		
総合的な機能評価								

注1) 病状の変化、検査結果、または病院の空床状況によっては転室、転棟をお願いすることがあります。その節はご協力をお願いします。
注2) 病名などは現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変わることもあります。
注3) 入院期間については現時点で予想されるもので病状により変わります。